

まちめぐりガイドマップ

もりやま魅力探訪

編集発行 名古屋市守山区役所 地域力推進課

守山市・名古屋市合併記念碑

守山市役所跡

守山山麓に位置する10haの園内には、果樹園や古墳をイメージした「世界の熱帯果樹温室」、果物に関する様々な知識を紹介する「くだもの館」、フリスティングコーナー等があり、四季を通して楽しめます。シダレ桜など約1,000本の桜は圧巻。

守山区のあゆみ

守山区は、昭和38年2月15日に守山市が名古屋市と合併し、13番目の区として誕生しました。南に矢田川・香流川、北に庄内川が流れ、区の東北端にある市内でも最も標高が高い東谷山から西南方向へ連なる丘陵地域が区の相当部分を占めています。

豊かな水と緑に恵まれた環境に加え、数多くの寺社仏閣や遺跡、棒の手、木遣りといった郷土芸能等の歴史的景観も大切に継承されている一方で、志段味地区では特定土地区画整理事業等による新たな都市景観整備が進んでいます。

平成25年2月には、守山区制50周年を迎え、豊かな自然、古くからの伝統と新しい文化の調和のとれた、魅力と活気のあるまちとして更なる成長・発展を遂げていきます。

区のシンボルマーク

守山の頭文字「M」と「山」を組み合わせた象形化したもので、外側の丸形の「M」が区民相互のふれあいの豊かさを、全体で鳥が空へ飛び出すのがこくと、伸びゆく守山を表しています。

（昭和58年10月制定）

区の花

「ききょう」（昭和63年2月制定）

区の木

「どんぐり」（昭和63年2月制定）

区のマスコットキャラクター

「モリスちゃん」（平成24年2月制定）

区イメージソング

「We Love MORIYAMA!」

作詞・作曲：なぐむらさき 歌：RIE（平成23年9月発表）

令和6年3月発行

3 小幡緑地 C-3

名古屋市と尾張旭市に続く計画面積約227haに及ぶ広大な自然公園。テニスコート、野球場等のスポーツ施設や芝生広場、児童公園のほか、野鳥園やゲンジボタルが飛翔する溪流広場など様々な施設を完備。池の周りに、マメナシやウカイコムウセンゴケなど貴重な湿地性植物も観察できます。

4 石山寺 A-4

寛元年間(1243〜)道内の開山。延宝4年(1676)、二代藩主光友が再建。山門脇の馬頭観音は昔の善光寺街道にあったものを明治時代に移した。尾張西国第十三番、全開廿一大師十六番。

5 庄内用水元秋樋門 A-3

庄内川からの取水口にある旧樋門。明治43年の改築時の原形をそのまま残した、市内に現存する唯一の「人造石工法」による貴重な産業遺跡。平成5年名古屋市都市景観重要建築物に指定。

6 小幡城址 B-4

大永2年(1522)、織田信信、信安の家臣・岡田重康の築城といわれています。一時廃城となりましたが、天正12年(1584)、徳川家康が修復し、小幡・長久手の戦いに三河と小牧山のつぎの城として重要な役割を果たしました。

7 水屋 A-3

認定地域建造物資産
この地域は庄内川と矢田川に囲まれた「瀬古村輪中」といわれた低湿地帯だったため、有力な家では水害に対する自衛策として、水屋と呼ばれる避難用の建物を設けました。

8 大永寺 B-4

建久元年(1190)創建。末寺12ヶ寺の小本寺格の古刹で、本尊は釈迦如来(伝悪心僧都作)。境内には樹齢500年超のラカンマキと400年超のイヌマキがあります。

9 守山瓢箪山古墳 B-4

名古屋市長官邸跡
5世紀末から6世紀初頭に築かれた、墳丘長63m・高さ5mの比較的良好な原形を保つ前方後円墳。幅10〜12mの周濠は、現在では埋められて公園になっています。

10 すいどうみち緑道 B-3

大山市で取水した木曽川の水を本市浄水場へ送る導水管の上を利用して整備された、庄内川〜矢田川間を南北に縦断する緑道。山間公園、西蒲市場公園付近の桜並木は特にオスメ。

11 龍泉寺 C-3

延暦年間(782〜806)、伝教大師最澄の創建と伝えられ、また弘法大師空海が熱田神宮参拝中、宝剣を同寺に奉納した。尾張四観音の一つ。天正12年(1584)、小幡・長久手の戦いで豊田秀吉がここに市陣し、小幡城の徳川家康と対峙しました。国指定重要文化財の仁王門と木造地藏に復元された龍泉寺城は、宝物館として寺宝を多数展示。※宝物館は日・祝日のみ開館

12 生玉稲荷神社 B-4

天正12年(1584)、徳川家康が小幡・長久手の戦いの道中、小幡城の守護神であった当社に立ち寄ったとされています。江戸時代には「小幡稲荷」とも呼ばれていましたが、明治12年、現在名に改称。毎月1日・15日には境内で朝市が開催されています。

13 守山城址 A-4

天文4年(1535)、守山城に市陣した松平清康(徳川家康の祖父)が家臣に殺された「守山崩れ」の舞台。桶狭間の戦いで降は廃城になり、寛永14年(1637)、城址に宝勝寺が建立されました。本堂裏に現在も残る堀の北東側には、城址碑がひっそりと佇んでいます。

14 唐九郎(翠松園陶芸)記念館 C-3

桃山時代の織部、志野、黄瀬戸の復元に成功した加藤唐九郎氏の作品や研究資料を展示。※金・土・日・祝日閉館

15 八竜緑地 C-3

八竜緑地は広大な湿地とため池を有した樹林地で、特別緑地保全地区に指定されています。また、緑地内の森は湿地の水源地の森として保全されています。シデコブシを始め、マメナシ、シラタマホシクサ等の東海地方固有の植物や、食虫植物のウカイコムウセンゴケなど、貴重な湿地性植物が生育しています。

16 自転車・歩行者専用道路 C-3

吉根から東谷山麓(予定)まで延長約5kmの大規模な専用道路。(現在は支所周辺まで完成)。志段味地区4小中学校児童生徒の手によるモザイクタイル壁画や、志段味中学生・住民による「志段味カルタ」は必見。

17 白沢渓谷 B-3

落差5mの滝が美しい深谷。隣接する城土公園には約150本の桜が植えられ、例年桜まつりが開催されています。平成9年度名古屋市都市景観賞受賞。

18 無縫塔(長慶寺) B-4

長慶寺の開山・南山土雲の墓標。南山和尚は、後に鎌倉建長寺の二十世、京都東福寺の十一世となった名僧。各々の寺には無縫塔が残されており、この塔もそれらにならって建立されたと考えられています。

19 牛牧遺跡 B-4

昭和33年からの発掘で、縄文時代晩期から戦国時代までの住居跡や石刀・石鏃等の石器、土器、土器、土器等が出土しました。段丘の上に新しい時代の遺物が出土、低い所に縄文時代の遺構があります。

20 志段味村役場跡碑 D-2

明治39年、志段村と上志段味村が合併し志段味村となり新たに建設された村役場は、昭和28年、この石碑より北西180mの位置に移転し、翌年守山市役所志段味支所となりました。同60年、支所と共に現在地に移転。

21 勝手塚古墳 D-2

6世紀初頭に築かれた、墳丘長55mの帆立貝式古墳。平成20・27年の発掘調査で墳丘を囲む円筒埴輪を確認。墳丘上には南北朝時代に勝手明神社を勧請したと伝えられる勝手明神社の社殿が鎮座。

22 才井戸流 D-2

高台からの流水と近辺の湧水を水源とした全長数百mのせせらぎ。ヒメボタルやイトヨリウグヒスズメバエも生育。

23 法輪寺 C-4

文治年間(1185〜1189)、平家追討のおり、源義経の出家・佐藤経信、忠信兄弟の母が諸寺巡拝の途上、法輪寺の前身・正宗庵に滞在。兄弟の供養に仏殿、山門などを立派に作り直しました。山門の脇には兄弟の供養塔があります。

24 大森寺 C-4

尾張二代藩主光友の生母敏喜院の方の菩提寺として、1661年(寛文元)、生母の故郷であるここに創建。中門に掲げられた山号の額は光友の真筆。

25 郷蔵

江戸時代に字ごとに造られた年貢米や備荒貯蓄のための共同穀倉。ここには現在、共有の祭礼道具が収められています。

26 東谷山 E-2

市内最高峰の標高198.3m。ムササビ、ニホンリスや特別天然記念物のニホンカモシカも生息するほか、生きた化石とも呼ばれるシデコブシが数多く生息するなど、貴重な自然が残されています。山頂から西側の山麓にかけて数多くの古墳も見られます。

27 白鳥塚古墳 E-2

4世紀前半に築かれた市内最古の前方後円墳。墳丘長約115mで、熱田の断天山古墳、大山の青塚古墳に次ぐ県下で3番目の大きさ。後部部に白色の石が葺かれていて白く輝いて見えたことから「白鳥塚」と名付けられたとの伝承があります。

28 尾張戸神社 E-2

創建年は不詳ですが、かつては熱田神宮に次ぐ大社であったといわれ、名古屋城の鬼門にあたることから尾張藩主の信仰も篤く、寛文年間には藩費による社殿の造営が行われました。社殿は4世紀前半に東谷山山頂に築かれた尾張戸神社古墳の上に鎮座。

29 東谷山白鳥古墳 E-2

6世紀末〜7世紀初めに築かれた、直径約17mの円墳。ほぼ完全に原形を残す横穴式石室が見られる、市内唯一の古墳。昭和36年の発掘調査では、須恵器や馬具、大刀等が出土しています。

30 東谷山フルーツパーク E-2

東谷山山麓に位置する10haの園内には、果樹園や古墳をイメージした「世界の熱帯果樹温室」、果物に関する様々な知識を紹介する「くだもの館」、フリスティングコーナー等があり、四季を通して楽しめます。シダレ桜など約1,000本の桜は圧巻。

31 山の手通〜雨池の桜並木

茶臼前から雨池公園周辺まで、約2kmにわたる桜並木。例年4月上旬には雨池公園で夜桜まつりが開催され、沢山の人で賑わいます。

32 香流川緑陰歩道 D-4

香流川は長久手市岩作三ツ峯を源流とする一級河川で、千種区で矢田川に合流しています。川岸の遊歩道はサイクリングや散歩の格好の場所となっています。

33 森孝西の桜並木 C-4

東名高速道路の西、八幡神社前の並木道。昭和55年の学区独立を記念し、その前年に桜の苗木が植樹されました。桜まつりの時期には300余のボンボリが吊れます。

34 大森郷祭

かつて大森村では、近所11ヶ村と共に龍泉寺に餅(馬・馬の塔)や棒の手などを奉納する「大森合祭」が行われていました。現在では、このミニ版の「大森郷祭」が5年に一度、八幡神社(大森)の例大祭に行われています。

35 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

36 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

37 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

38 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

39 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

40 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

41 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

42 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

43 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

44 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

45 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

46 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

47 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

48 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

49 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

50 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

51 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

52 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

53 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

54 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

55 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

56 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

57 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

58 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

59 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

60 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

61 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

62 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

63 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

64 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

65 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

66 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

67 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

68 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

69 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

70 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

71 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

72 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

73 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

74 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

75 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

76 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

77 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

78 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

79 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

80 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

81 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

82 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

83 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

84 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

85 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

86 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

87 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

88 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

89 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

90 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

91 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

92 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

93 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

94 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

95 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

96 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

97 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

98 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

99 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

100 黄金伝説

佐藤兄弟の母が寺の将来のために黄金千枚を埋め、その場所を書いた一文を本尊の合座の下に隠しました。後年これが発見され、多くの人が黄金を探しましたが、ついに見つかりませんでした。「以後後遺金千枚 此御寺牛刀二日置之也 6月吉祥日」

皆さんからご応募いただいた「あなたが考える守山区の魅力」を中心に守山区の見どころをご案内します！

マッピングは桜のお花見スポットです！

記録に見る「守山」
大永6年(1526)、連歌師宗長が守山城を訪れ、千句連歌を催しました。その時の発句は「花にけり、風を関守山路哉」。この宗長の手記が「守山」や「守山城」の最初の記録とされています。

散策・見学時のおお願い
近隣住民、通行者、所有者のご迷惑にならないよう、節度ある行動をお願いします。

おわり